

(新)騒音やヒートアイランド等都市環境の負荷の軽減に資するまちづくり技術支援
14百万円(0百万円)

水・大気環境局自動車環境対策課
大気生活環境室

1. 事業の概要

都市活動に起因する大気環境問題には、大気汚染、騒音、ヒートアイランド現象、地球温暖化と現象としては様々であるが、こうした問題を改善するための方向性や対策はその多くが共通したものである。

このうち自動車騒音については、騒音に係る環境基準(道路に面する地域)について平成20年度末を達成目標とし、自動車及び道路を中心とした各種騒音対策がなされてきたところであるが、幹線道路を中心に既存の施策では環境基準の達成が困難なところもある。

そこで、まちづくりの観点から、騒音対策に加えてヒートアイランド対策、地球温暖化対策への効果を期待できる施策を構築する。具体的には、道路交通の発生源となる地域や施設、既存の施策では環境基準の達成が困難な地域等において、

建築物の外壁等に大気環境の保全の効果のある建築素材の利用促進
集合住宅等の良好な生活環境・省エネ性能の確保

を目指した施策を構築する。

2. 事業計画

項目	H19	H20	H21
大気環境保全に資する建築物外壁素材等の利用促進			
1)建築素材パントリーの作成(吸音率、保湿性等)、提供			→
2)都市への適用検討(適用範囲、騒音シミュレーション等)			→
3)施策の総合検討(制度設計等)			→
集合住宅等の良好な生活環境・省エネ性能の確保			
1)先導的地域の条例等調査			→
2)都市への適用検討(適用範囲、騒音シミュレーション等)			→
3)施策の総合検討(指針(仮)の策定等)			→

3. 施策の効果

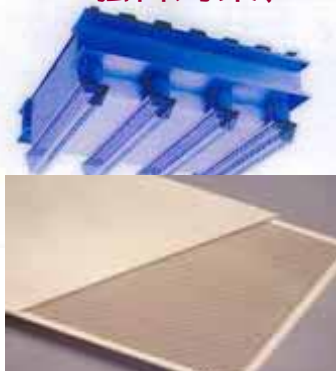
自動車騒音対策、ヒートアイランド対策、地球温暖化対策をまちづくりの観点から推進する。

騒音やヒートアイランド等都市環境の負荷の軽減に資する まちづくり技術支援



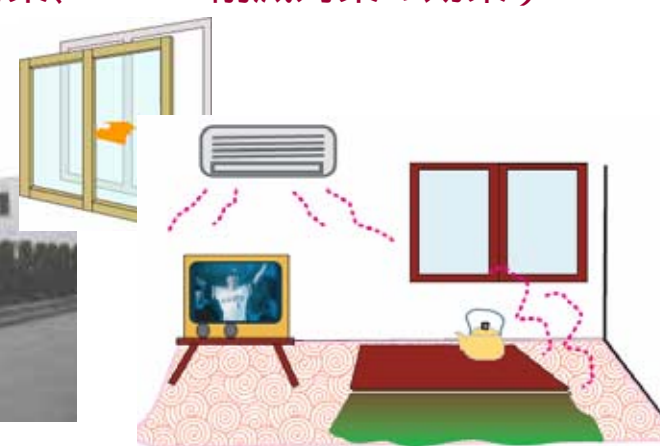
建築物の外壁等に大気環境保全の
効果のある建築素材の利用促進

(吸音効果、保湿効果
～騒音対策、ヒートアイランド対策の効果)



集合住宅等の良好な生活環境・
省エネ性能の確保

(遮音性能、気密性能
～騒音対策、CO₂削減対策の効果)



- ・ 大気環境保全に効果のある建築素材の性能に関する調査、活用方策の検討
- ・ 自動車の運行等から生活環境を保全するためのまちづくり指針(仮)の策定